



[氏名] 一宮 邦訓
[出身都道府県] 長崎県
[卒業期] 24期（平成13年度卒）



これから羽ばたいていく先生方へ。

初めまして。長崎県24期(2001年卒)の一宮邦訓と申します。現在長崎県の離島である上五島にて整形外科として勤務しています。

2年間の初期臨床研修を終え、独り立ちをしていくにあたり、いろいろと不安なこともあるかと思います。私自身の経験がどれほど役に立つかは分かりませんが、参考になれば幸いです。

私は初期臨床研修期間は内科・外科・小児科・救急科・麻酔科のローテーション研修に加え、選択としてもともと志望していた整形外科の研修を6か月間と長くとった上で3年目を迎えました。長崎県は大きな有人離島が多く、それぞれに200床程度の中核病院がありその離島の医療を支えるという環境です。その特殊性から3年目から内科、外科、整形外科、小児科などはその専門科として病院に配属される形となっています。そのような事情から3年目から離島病院で整形外科として勤務することが分かっていたため、選択研修を長くとりました。



そうやって満を持して？離島勤務開始となりましたが、やはり知識も技術も足りないことばかりでした。とりあえずは目の前の患者さんに対応するため、勉強して知識を増やすしかありませんし、外来の途中に本で調べに行ったこともありました。当時はスマホやタブレットはまだありませんでしたし。患者さんたちを待たせてまで調べるのはどうかと思う方もおられるかもしれませんが、よりよい診療を行うために必要と判断して行うことに間違いはないと思います。そしてそうやってでも調べて、その場で患者さんに還元できたことは忘れない知識として自分の中に蓄えられていきます。

もちろん上司や同僚にも時間があれば相談していましたが、何よりお世話になったのは院内のスタッフの方々です。外来中の困ったときに「前の先生はこの薬を出してましたよ」とか「あの患者さんにはこれ」みたいなアドバイスをしてくれた看護師さんや細かな画像所見について助言をくれた放射線技師さんなどいろんな方に助けていただきました。長く勤務されているスタッフはその地域のことを多く知っておられ、患者さんの既往歴・診療歴だけでなく、家族構成から家族歴、住んでいる環境、学歴から結婚歴など個人情報に至るまで把握していて驚いたこともあります。仲良くしておくに越したことはありません。

また地域のことを知ることも大切だと思います。医療者としてその地域のことを勉強することもそうですし、その地域の住民の一人として何かしらに参加することもよいと思います。学生のころからバスケットを続けていますが、地域のチームに



参加し交流を広げることで、思わぬところで仕事でも助けられたなんてこともありました。

大変だったこと、楽しかったこといろいろ思い出して到底伝えきれませんが、私は3年目でここ上五島に来て、いつの間にか15年ほど経過してしまっています。それほど充実した仕事、生活がつづけられているということだと思います。皆さんにも地域での充実した日々が待っています。一緒に楽しんでいきましょう。

